

シグマ(臨時)専門委員会

第47回理事会議事録・抜萃 (昭38.1.28)

30-4 資料・理47-12, 12'により、深井企画委員より核定数に関する原子力平和利用研究委託費およびシグマ小委員会について経過報告の後、原子力局研究振興課長補佐一文字氏の内容および現状についての説明があり、本会が約1,000万円の委託費を受託することの可否を検討した。

受託に対する異論としては大要次の意見があつた。

- (1) 学会が一部の研究グループのために労力と費用を使うことには疑問がある。
- (2) 将来原研に予定されるシグマセンター設置の準備であるなら、原研自身がすべてその衝に当るべきである。
- (3) 本会のような小規模学会が、その年間予算に匹敵するほどの多額の委託費を取り扱うことは、財政的にもまた事務局の労力的にも負担が多すぎる。

種々討論の結果、本会の発展を考へて「受託」の方針を決定した。しかし、具体的実施に当つては運用面において種々困難が予想されるので、大要次のとおり原研側の格別な配慮を確約願つた。

- (1) 旅費・資料印刷費・会合費等予想される不足額については原研内で便法を講じてこれを補充する。
- (2) ^{事務}理事担当者の増員および増員までの間の委託関係事務のすべては原研所員が処理する。

(3) その他、原子力局との折衝などを含め事務処理に全面的に協力する。

以上により受託を決定したので、委託研究事業の実施を所掌するため、つぎのとおり（臨時）専門委員会の設置を承認した。

名 称	シグマ（臨時）専門委員会
事業の内容	炉物理解析に必要な核定数の整備のため、その理論解析および計算作業を行ない、併せてシグマセンター（原研内）設置準備のための作業を行なう。
主 査	百田光雄氏（原研 核物理研）
幹 事	大野善久氏（原研）、安 成弘氏（東大）
委 員	さらに、原研炉物理より1名のほか関係者若干名 関係ある機関の参加希望者約20名を委嘱する。
経 費	本会からは5～7.5万円の専門委員会費を次年度 予算に見込む。